

令和6年 第3回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和6年3月7日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

教 育 長 榊原 寛二

教育長職務代理者 堤田 綾子

委 員 小藤 省吾

委 員 浅野俊太郎

委 員 鋤柄佐千子

出席職員の氏名

教 育 部 長 近藤 昭子

生涯学習課長 伊藤誠一郎

町民会館事務長 藤井 信介

中央公民館長 内田 大介

町民会館事務長補佐 栗田 宗広

給食センター所長 青木 隆

学校教育指導主事 神谷 俊輔

学 校 教 育 課 長 森田 光一

ス ポ ー ツ 課 長 佐伯 広行

歴史民俗資料館長 山下 恵広

生涯学習課課長補佐 神谷 芳美

スポーツ課課長補佐 石川 恭太

学校教育課課長補佐 藤井 千絵

学校教育指導主事 小田島 健

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第2回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第3回定例会の開会を宣言します。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくをお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

2月 8日(木)

・定例教育委員会 ・第2回総合教育会議

・表敬訪問 空手道

全日本少年少女空手道選抜大会出場予定(令和6年2月開催)

衣浦小6年生、5年生、富貴小5年生2名

JOCジュニアオリンピックカップ文部科学大臣杯

全国中学生空手道選抜大会(令和6年3月開催)

武豊中2年生、武豊中1年生

2月15日(木)

・県町村教育長会研修会

- 2月16日(金) ・定例校長教委管理職会議
- 2月19日(月) ・表敬訪問 軟式野球
NPB12球団ジュニアトーナメントにドラゴンズジュニアチームとして出場(令和5年12月開催)
武豊小6年生
- 2月27日(火) ・社会教育審議会
- 3月1日(金) ・武豊高校卒業式 ・臨時校長会議
- 3月6日(水) ・富貴中学校卒業式(浅野委員、小藤委員) ・臨時教育委員会
- 3月7日(木) ・知教協 ・臨時校長会議 ・定例教育委員会

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

(教育長) 議案第8号「武豊町中央公民館の臨時休館(案)」について、事務局より説明をお願いします。

議案第8号「武豊町中央公民館の臨時休館(案)」について

(生涯学習課長) 資料1の説明

新年度の機構改革、職員の配置変更に伴う準備作業を行うために臨時休館をします。3月29日(金)の業務終了後から31日(日)までを休館とし、本庁舎の生涯学習課とスポーツ課の備品や書類等を公民館の事務室へ移動するための作業を行います。

(教育長) 今の件で、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第8号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、議案第9号「武豊町オーストラリア派遣事業実施要綱の一部改正(案)」について、事務局の説明をお願いします。

議案第9号「武豊町オーストラリア派遣事業実施要綱の一部改正(案)」について

(学校教育課課長補佐) 当日配付資料の説明

主な改正理由としては、国際交流事業オーストラリア派遣事業の再開にあたり、派遣対象者など見直しをしたためであります。改正内容については、派遣対象者を

中学生のみに限定したり、武豊町オーストラリア派遣事業実施委員会の構成員を見直したりしています。コロナ禍で交流できなかった令和2年度から5年度の4年間の状況を考慮した結果、再開する令和6年度については、派遣対象人数を増員します。この要項について、令和6年4月1日から施行します。

(教育長) 今回の件で、ご質問等はございますか。

(教育委員) 中学生に限定した理由を説明してください。

(学校教育課課長補佐)

コロナ禍で中止されていた小学5、6年生が国際交流に参加できなかったことを考慮し、今まで中学1、2年生までが対象だったものを全学年対象にして、かつ12名増やして36名にしています。

(教育長) ザビア校と衣浦小学校のつながりは深く、ザビア校からの受け入れについては衣浦小学校が窓口となっていました。この衣浦小学校から5、6年生が参加していましたが、現地の法律によって、ザビア校からの派遣ができなくなりました。小学校同士の交流は難しい状況になり、小学校との交流は今回をもって一度中断し、中学生とザビア校との交流に方向性を変えていきます。

(教育長) 他に、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第9号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、議案第10号「武豊町生涯学習推進協議会設置要綱の一部改正(案)」と議案第11号「武豊町生涯学習推進本部設置要綱の一部改正(案)」について、事務局の説明をお願いします。

議案第10号「武豊町生涯学習推進協議会設置要綱の一部改正(案)」について
議案第11号「武豊町生涯学習推進本部設置要綱の一部改正(案)」について

(生涯学習課長) 当日配付資料の説明

関連があるので、議案第10号と議案第11号について、併せて説明をします。武豊町生涯学習推進協議会は、毎年ではなく、必要に応じて招集する協議会です。推進本部については、生涯学習推進協議会の内部組織として役場の各担当部局から

選ばれた委員による会議です。

この度、機構改革により生涯学習課とスポーツ課が一緒になり、生涯学習スポーツ課になります。その中で、関連するさまざまな要綱を見直す中で、この2つの要綱については、生涯学習課の文言があるため、今回の一部改正では、それぞれについて、生涯学習課を生涯学習スポーツ課と改めます。要綱の主な役割についての変更はなく、名称のみの変更になります。

(教育長) 今回の件で、ご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第10号と議案第11号について、原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を教育部長をお願いします。

5. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和6年 第1回武豊町議会定例会一般質問の概要について

(教育部長) 当日配付資料の説明

- ・保育と教育の重点施策と方向性について
こども教室の設置、不登校児童生徒に対する居場所と学習支援
不適切保育・教育に対する対応
- ・町民会館の利用について
予約開始時期について、予約システムについて
利用者からの意見の情報共有
- ・学校開放施設のトイレ整備について
設置されているトイレの数、洋式トイレの設置状況
トイレの設置場所の改善計画
- ・給食の無償化について
中学校、小学校の年間の給食費、武豊町での給食費の無償化実施の可能性
子育て支援施策のブランディング化

(2) 令和6年度 武豊町社会教育指導員について

(生涯学習課長) 資料2の説明

社会教育指導員として、本年度任用の2名を来年度も任用予定
任用期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日

(3) 令和6年度 吉町田湿地植物群落監視員名簿について

(歴史民俗資料館長) 資料3の説明

監視員として、5名が継続、1名が新任で委嘱予定
任期は、令和6年4月1日から令和7年3月31日

(4) 令和6年度 学校訪問一覧について

(指導主事) 資料4の説明

日程の報告及び教育委員出席者の確認
教育委員は各校2名ずつ、1人あたり3校を訪問

(5) 令和6年度 定例教育委員会・知協教・幹事会の日程について

(指導主事) 資料5の説明

定例教育委員会開催日程の確認及び知協教日程、参加者の確認

(6) 令和6年度 生涯学習スポーツ課所管の主要行事について

(生涯学習課長) 資料6の説明

中央公民館、歴史民俗資料館、図書館、総合体育館等で開催する行事についての
確認

(7) 学校の近況について

(指導主事) 当日配付資料の説明

不登校児童生徒に関すること、学校の様子、制服改定だより

(8) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料7について説明(3月～6月)

6. その他

(1) 町民会館より

・ゆめプラ通信

(2) 生涯学習課より

・吉町田湿地ボランティアの応募状況

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 昨日、中学校の卒業式に参加させていただきました。雨の中、寒い日でしたが、エアコンのおかげで体育館も暖かく、気持ちよく過ごすことができました。武豊町には感謝をしております。コロナ禍の卒業式では、歌を歌うこともできませんでしたが、今年はコロナウイルス感染症の扱いが5類へ移行して最初の卒業式であり、子どもたちの歌声を聞いて、改めて素敵だなと感じております。また、スムーズに

卒業証書の授与が行われていました。式全体の流れもよく、卒業生たちの立派な姿を見ることができました。

- ・ 先ほどの報告にあった不登校の問題にも関わりますが、卒業式で担任の先生が呼名をしたときに、来ていない生徒の数が気になっていました。小学校から中学校にあがるときに、不登校の状態のままとなかなか切り替わることは難しいと思いますが、不登校の数が減っていくとよいと思っています。武豊町には、スクールソーシャルワーカーや支援員さんたちを増やしていただいています。これからも、人的支援に重点を置いていただきたいと改めて思いました。
- ・ 卒業式では、マスクをしている卒業生が少なく、いろいろな表情を見ることができて素敵だなと感じました。コロナ禍と比べて、学校生活が変わっているということも、行事を通してより感じるできています。

(教育委員)

- ・ 名古屋の小学校で、子ども同士による金銭の受け渡しが行われていたことがニュースで報道されました。お金を払った子は生活に変化が出てくると思います。また、お金を払わせた子も多額のお金を持つことにより、生活に変化が出てくると思います。その状況で、周りの子たちも何かしら変化を感じていたのではないかと考えられます。そこで、以前からお話をしている、何かおかしいと感じたときにその情報が吸い上げられるシステムがあるとよいと思いました。ここまで事が大きくなる前に、周りから何かできなかったのかと思います。
- ・ 昨日、中学校の卒業式に体育館が暖かいと思いながら参加しました。入学式は母親が多い印象をいつも受けておりましたが、卒業式には父親もたくさん来られていました。学校行事にご両親で参加されるというのは、すごくいい光景だと思いました。
- ・ CoCo 壱番屋の創業者は、音楽に造詣が深く、音楽ホールを作られただけでなく、バイオリンストラディバリウスをいくつか購入し、文化を継承するために有望な若手に貸し出していたそうです。武豊町の町民会館には、ピアノのスタインウェイが設置されています。スタインウェイはそうそう弾けるものではないです。また、持っている自治体も少ないのではないかと思います。そういったピアノを子どもたちが弾ける機会があるとよいと思います。卒業式で上手にピアノを弾いている生徒の姿を見て、ぜひ使わせてあげたいと感じました。
- ・ 武豊町で学童保育の待機児童が多数いるという話を聞きました。町外の NPO 法人で学童を開業したいと考えている方の話も聞いています。現状において、学童保育をすることが必要なのか、それとも必要ではないのか教えていただきたいです。

(教育部長)

- ・ 学童保育については、子育て支援課の管轄にはなりますが、来年度の放課後児童クラブの待機者が多く出ていることについて、3月議会の一般質問でも質問がありました。子供たちが放課後安全に過ごすために、どうにかしなければならないという思いは教育委員会も子育て支援課も共通の思いです。現在、学校と子育て支援課、教育委員会を含め、4月以降に待機児童を減らすことはできないか調整をしている

ところです。また、民間の力を借りての児童クラブの開業については、令和7年度、8年度に向けて民間の方が町内でいくつかやっていたのではないかとこの方向で伺っております。今後は、公的、公設だけではなく、民間の力もお借りして、人材も確保しつつ、子供たちの居場所づくりを進めています。

(教育委員)

- ・ 昨日、中学校の卒業式に出席をさせていただきました。大変寒い日でしたが、体育館の中は暑くもなく寒くもなく、保護者の方でひざ掛けをかけている方がほとんどいなかったということは、エアコン導入の効果があったからだと思います。卒業式も大変素晴らしい式でした。在校生を入れない卒業式でしたが、校長先生がこの形がよいのか悪いのか悩まれていたと伺いました。一度変えてみて、改めて考え直すということも非常にいいことだと思います。校長先生は素晴らしい判断をされたと思っています。
- ・ 2月23日に町民会館の響きホールで、「はやぶさ2」初期分析チーム統括の橘省吾先生の講演会がありました。講演の中で、分かっている世界と分からない世界の境界線に立っているのが、研究者であるというお話をされていました。講演会后、先生に研究者はセンスが必要ですかと質問をしました。先生は、センスというよりも、向いている人と向いてない人がいるとお答えになりました。考え方や性格で変わる部分もありますが、分かっている世界で優秀な成績を収めてきた人たちというのは、分からないこと、できないことに対する恐怖心をもっています。だから、そういったことに出会った時にそこで立ち止まってしまいます。一方で、そういったことに出会った時に、好奇心をもって、一歩前に出ていける人たちが、研究者に向いているのだと、講演を聞いて思いました。

また、橘先生は研究者に向いている人は主体的であると表現されていました。教育の現場でも主体的な学びという表現がありますが、何か分からないことがあった時に、考える習慣をつけることが、主体的な学びで1番大事なことだと思います。だから、子供たちを指導する時に、一方通行で情報を伝える、教えるだけではなくて、「なぜ」と常に問いかけていくことがすごく大事なことだと思います。そうすることで、子供たちが与えられた情報をそのまま答えるのではなく、一歩踏み込んで、考えていく習慣ができるのではないかと思います。橘先生のお話を伺って、主体的という表現がまさしく子供たちの教育において今後重要なテーマになっていくと思っています。

(教育委員)

- ・ 昨日、中学校の卒業式に参加しました。そこでの生徒の姿は大変立派なものでした。私が中学生のときと比べると、男子も女子も髪型がずいぶん変わったなと感じました。式に参加するなかで、私自身の中学校生活のことを思い出しました。私が中学生のとき、1年生は基本的に必ず運動部に入部しなければいけませんでした。私はテニス部に入部しましたが、陸上が得意な先生が顧問だったので、毎朝走っていたことを思い出します。また、私は学生時代にオーストラリアに行く機会がありましたが、オーストラリアはテニスが盛んで、テニスができることによって友達もできました。中学校でテニスをしていたことにより、人とのつながりができ、中

学校での活動が役に立っていることを感じています。

- ・ 私がオーストラリアに行ったときの指導教員は目が不自由でしたが、とても高い記憶力の持ち主でした。その先生が、どんな人にも個性があるから、あなたはあなたの個性を伸ばしなさいと言われことを今でも覚えています。大学生と関わっていると、お膳立てをしないと自分では活動ができない学生、突拍子もないことを言う計画性がない学生、言われたとおりに活動ができるが、それ以外のことには対応できない学生など、様々な学生がおります。現在、教育委員となり、今までとは違った視点で子どもたちを見ることができるようになりました。感謝しています。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日
署名

.....
.....
.....
.....
.....

作成者 小田島健